

第1学年美術科学習指導案

平成26年10月10日(金) 5校時 美術室
1年B組(男子20名 女子14名 計34名)
授業者 教諭 照井智子

個人の研究テーマ：感性を磨く学び合いはどうあればよいか

1 題材名 和風を味わう～自分だけの文様をつくろう～

2 題材の目標

- (1) 暮らしの中にある「和風」に関心を持ち、自分だけの文様づくりに主体的に取り組む。
- (2) 目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練る。
- (3) 構想をもとに、材料や用具の効果的な生かし方を考え、創意工夫して表現する。
- (4) 暮らしの中にある「和風」を感じ取り、日本の美意識や伝統的な美術文化への関心を高める。

3 指導計画(全6時間)

鑑賞：日本の伝統文化に触れ、その良さを感じ取る。・・・1時間
発想：自分の願いや思いをもとに、自分だけの文様を考える。・・・1時間
制作：用具を正しく使い、丁寧にゴム印を彫る。・・・1時間
制作：使うことを考え、構成を工夫して、手ぬぐいにスタンプを押す。・・・2時間
本時 1/2時間
鑑賞：友達の作品のよさや美しさを見つける。・・・1時間

4 本時の目標と評価規準 [学習指導要領との関連]

- (1) 自分の思いをより良く表すために、構成美や色彩の効果を生かして、表現の構想を練っている。
〔A 表現 (2) ア、イ「目的や機能の表現」【発想や構想の能力】〕
- (2) 文様の並べ方や組み合わせ方を理解し、表したいイメージをもちながら意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。
〔A 表現 (3) ア「目的や機能の表現」【創造的な技能】〕
- (3) 友達の作品から、文様の並べ方や組み合わせ方のよさや美しさを感じ取るとともに、自分の表現を見直している。
〔B 鑑賞 (1) ア【鑑賞の能力】〕

5 本時の困難度査定(予想される生徒のつまずき)

- ・並べ方や組み合わせ方の工夫をイメージすることが難しく、作例からその特徴を見つけることができない。
- ・並べ方や組み合わせ方の工夫はや面白さは理解できるが、自己決定ができない。

6 本時の指導構想

【説明する】	【理解確認】	【理解深化】
・構成美の要素について想起させる。	・文様の並べ方や組み合わせ方が工夫できることを確認させる。	・友達の商品鑑賞をもとに気付いたアイデア等を参考にし、自分なりの作品を制作させる。
<p><目標に達しない生徒への手だて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントに整理させることで、文様の並べ方や組み合わせ方の特徴をつかませる。 ・協同的な学習（小グループ）を通じて、互いの構想を深め、資料の中から選択するなどして、自己決定させる。 		
<p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文様の並べ方や組み合わせ方の工夫を知り、作品づくりに生かそうとする。 ・協同的な学習により、自己の考えが深まるとともに、他を認める気持ちをもつことができる。 		

7 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
説明 5分	1 前時までの確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の文様が、自然や身近な生活用品をもとにデザインされていることを再確認させる。 ・既習事項、自然物の構成からシンメトリーやリピテーションなど、構成美の要素を思い出させる。 ・市松模様、破れ、散らし、よろけなどを示す。印象を学習プリントに記入する。〈個の学習〉 ・インクの色の違いにも触れる。
	2 構成美の要素について想起する。	
3 資料を見て文様の並べ方や組み合わせ方について学習することを理解する。		
4 学習目標を把握する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 文様の並べ方や組み合わせ方を考えて表現しよう。 </div>	
理解確認 15分	5 ペア学習で、組み合わせ方の作例から、自分が表現するもとなるモチーフを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・花菱、繋ぎ、麻の葉、崩し、網代。 ・学習プリント〈ペアの活動〉 ・〈全体の活動〉交互、回転、同心円など。
	6 自分が考えた組み合わせ方を考え発表する。	
理解深化 20分	7 学んだことをもとに、グループ内の構想も参考に、自分なりの並べ方や組み合わせ方を工夫しながら制作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・〈小グループの活動〉 ・評価規準（1）（2）について、観察。
	8 ペア学習で、互いの工夫を見つけ合う	
自己評価 10分	9 ふり返りを記入する。 本時をふり返り、学習課題についてまとめ、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントに記入させる（自分の表現のよさを見つけさせる） ・評価規準（3）について、学習プリント、発表内容から評価。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなのアイデアを見て、楽しかった。」 ・「他の人のアイデアを見てもっといいアイデアに変えることができた。」 ・「普段の生活の中に、面白いデザインがあることがわかった。早く飾りたい。」 ・「友達の作品を見ることで、自分の表現のいいところを再確認できた。」 </div>	
	10 次時について確認する。	